

鹿病防第41号
平成20年2月15日

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察特殊報第4号について

垂水市のオクラでアカホシカメムシ *Dysdercus cingulatus* (Fabricius)の発生が認められ、特殊報第4号を発表したので送付します。

なお、病害虫防除所ホームページ (www.jppn.ne.jp/kagoshima) にも掲載しています。

病害虫発生予察 特殊報第4号

平成20年2月15日
鹿児島県病害虫防除所

1 病害虫名 アカホシカメムシ *Dysdercus cingulatus* (Fabricius)

2 作物名 オクラ

3 発生確認及び発生状況

発生確認年月日 平成19年10月8日

同定確認 平成19年10月11日 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
野菜茶業研究所 河野勝行 氏

発生地域 垂水市

発生確認の経緯及び発生状況

平成19年10月8日、垂水市において野菜ほ場に隣接するアオギリの小草付近に多数のカメムシが発見され、同市役所から本虫の持込みがあった。10月11日に野菜茶業研究所の河野氏に同定を依頼した結果、アカホシカメムシ *Dysdercus cingulatus* (Fabricius)と確認された。

10月12日に行った現地調査では、オクラほ場で成虫の果実への吸汁加害が観察され(写真1, 2)、また成熟した果実に若齢幼虫が多数確認された(写真3)。経済栽培のオクラほ場での被害果率は16~28%、家庭菜園では100%に達していた(写真2, 表1)。また、ほ場に隣接するアオギリの熟した果実に多数の成虫と幼虫が観察された。

10月17日~11月3日に志布志市と指宿市等で行った調査では、本虫の発生は確認されなかった(表2)。

4 形態及び生態等の特徴

形態: 体長12~17mm。橙赤色で、前胸背の前縁に白色の帯紋があり、前翅に明瞭な1対の黒い小円紋がある(写真1)。

生態: 本種の繁殖はアオイ目植物の果実や種子に依存する。発育零点は約14。移動能力が大きい。交尾・産卵した個体は移動能力が低くなるとの報告もある。

分布: 国外では台湾、中国南部、海南島、ベンガル、アッサム、ミャンマー、タイ、ベトナム、カントン、マレーシア、スマトラ、ジャワ、バリ、ボルネオ、フィリピン諸島、マルッカ諸島、テニンバー、ニューギニア、ニューアイルランド、ソロモン諸島、ニューカレドニア、オーストラリア北部に分布する。

国内では沖縄諸島、先島諸島、奄美諸島(奄美大島、沖永良部島)に分布している。

寄主植物: 寄主植物としてアオイ科のオクラ、ワタ、エノキアオイ、オオハマボウ、サキシマハマボウ、サキシマフヨウ、ハイビスカス、フヨウ、ムクゲ、リュウキュウトロアオイ、キワタ科のキワタノキ、トックリキワタが記録されている。ワタの重要害虫として知られている。

5 防除対策

収穫の遅れたオクラで繁殖するので、熟した果実は早急に除去する。

6 引用文献

1) Dingle, H., and G. Arora. (1973) *Oecologia* (Berlin) 12: 119-140

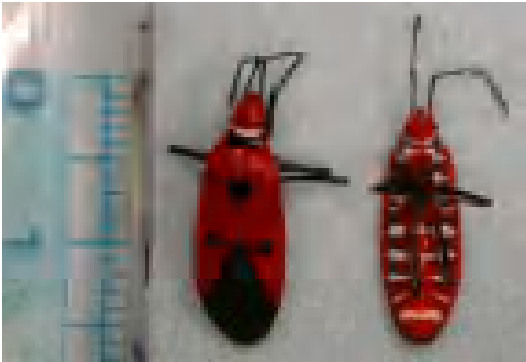
2) 岩田久二雄 (1978) 昆虫の美食 - 熱帯綿作害虫の観察. 昆虫をみつめて50年 : 151-161, 朝日新聞社, 東京.

3) 林正美 (2002) カメムシ目. 琉球列島産昆虫目録増改訂版, 東清二監修, 沖縄生物学会.

4) 河野勝行 (2001) *Rostria*, 50: 31-34

5) Kohno, K. and Bui Thi, N. (2004) *Applied Entomology and Zoology* 39(1): 183-187

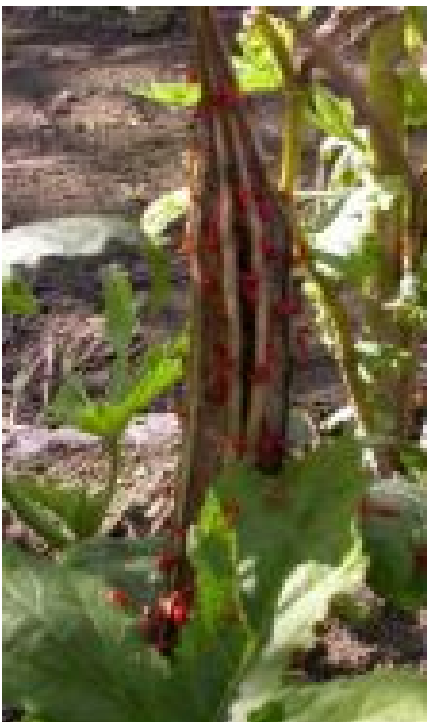
6) Kohno, K. and Bui Thi, N. (2005) *Entomological Science* 8(4): 313-322.



【写真1】アカホシカメムシ成虫



【写真2】成虫のオクラ果実の吸汁と被害果実



【写真3】オクラ成熟果実上の
若齢幼虫



【写真4】アオギリの果実に生息している成虫
(果実内の種子に多数の若齢幼虫が観察された)

表1 垂水市のオクラほ場におけるアカホシカメムシの生息葉率と被害果率(平成19年10月12日計)

| ほ場 | 地域名 | 面積 (単位a) | 生息葉率 ¹⁾ | | 被害幼果率 ²⁾ | | 備考 |
|----|-----|-------------|--------------------|------|---------------------|------|------|
| | | | 調査葉数 | 生息葉率 | 調査果数 | 被害果率 | |
| 1 | 柁原 | 10.0 | 100 | 1 | 50 | 28 | |
| 2 | 柁原 | 10.0 | 100 | 1 | 50 | 16 | |
| 3 | 浜平 | 0.2 | 100 | 46 | 50 | 100 | 家庭菜園 |
| 4 | 浜平 | 0.4 | 100 | 21 | 50 | 100 | 家庭菜園 |

注1) 成虫, 幼虫がとまっていた葉。

注2) 吸汁痕と思われる隆起や褐変が認められたものを被害果とした。

表2 垂水市及び県内各地でのアカホシカメムシの発生調査結果

| 調査場所 | 調査年月日 | 植物名 | 調査本数 | 調査ほ場数 | 発生数 (%) |
|---------------|-------------|---------|------|-------|---------|
| 垂水市中俣 | 2007年10月12日 | アオギリ | 2 | - | 2 |
| | | サヤエンドウ* | - | 5 | 0 |
| | | サヤインゲン* | - | 4 | 0 |
| " 浜平 | 2007年10月12日 | アオギリ | 7 | - | 7 |
| | | オクラ* | - | 2 | 2 |
| | | ナス* | - | 1 | 0 |
| | | シシトウ* | - | 1 | 0 |
| | | サヤインゲン* | - | 2 | 0 |
| " 柁原 | 2007年10月12日 | オクラ | - | 2 | 2 |
| 垂水市計 | - | アオギリ | 9 | - | 9 (100) |
| | | オクラ | - | 4 | 4 (100) |
| | | サヤエンドウ | - | 5 | 0 (0) |
| | | サヤインゲン | - | 6 | 0 (0) |
| | | ナス | - | 1 | 0 (0) |
| | | シシトウ | - | 1 | 0 (0) |
| 志布志市有明町蓬原 | 2007年10月17日 | アオギリ | 5 | - | 0 |
| 指宿市新西方 | | オクラ | - | 12 | 0 |
| " 十町 | | オクラ | - | 5 | 0 |
| " 山川成川 | 2007年10月23日 | オクラ | - | 2 | 0 |
| " 山川大山 | | オクラ | - | 1 | 0 |
| " 開闢川尻 | | オクラ | - | 2 | 0 |
| 頴娃町牧之内(現南九州市) | | オクラ | - | 3 | 0 |
| 鹿児島市五ヶ別府町 | 2007年11月3日 | アオギリ | 7 | - | 0 |
| 日置市吹上町和田 | 2007年11月3日 | アオギリ | 11 | - | 0 |

注1) *:アオギリの周囲にあった作物。

注2) 垂水市のオクラの発生状況は表1を参照。